

# 報部

府督總濟台  
輯編部報情

號日一月一十

昭和十五年九月二十三日第三種郵便認可  
昭和十五年十一月一日發行  
（每月二回 一日、十五日發行）  
（〇九號）



# 報部

府督總濟台  
輯編部報情

號日一月一十

中華民國二十九年九月十一日  
（第一〇九號）

印度支那事情  
千八百...

### 部 報 日 誌

十月一日(火) 興亞奉公日  
 ▼南米軍事施設會議開催(於ワシントン) ▼エヂプト政府日本向棉花船積の禁止令を發す  
 十月二日(水)  
 ▼英政府、廣範圍に輸出禁止、制限を行ひ、對日敵性露骨化  
 十月三日(木)  
 ▼内務省に於て全國經濟保安課長會議開催、參謀總長の更迭、杉山元大將親補さる  
 十月四日(金)  
 ▼海軍部隊、雷州半島各所に敵前上陸敢行、英政府、ビルマ援護再開に決定、佛印へ經濟使節團派遣  
 十月五日(土)  
 ▼伯亞新通商協定妥結  
 十月六日(日)  
 ▼海軍浙江省奉化を空爆、陸軍ハノイに進駐  
 十月七日(月)  
 ▼東京にて軍需工業經營能率指導講習會開催、海軍昆明を猛爆  
 十月八日(火)  
 ▼天皇陛下には東京帝大に行幸遊ばさる  
 ▼カナダ政府の對日輸出を禁止  
 十月九日(水)  
 ▼獨軍ルーマニヤに進駐  
 十月十日(木)  
 ▼總督府明年度豫算三億圓案に上る、金製品の譲渡、質入、特定の場合の外禁止さる(大藏省發表)  
 十月十一日(金)  
 ▼十月上月對外貿易概況(大藏省發表)輸出九六三、九七、輸入一一九、七一九、合計一一六、一、六、入超三、三三二  
 十月十二日(土)  
 ▼特別觀禮式大元帥陛下の御親臨を仰ぎ横濱沖て行はる、海軍關係、第二十六回論功行賞、四百六十一勇士と發表(海軍)  
 十月十三日(日)  
 ▼大政翼賛會發會式舉行(於東京)南京、漢口在留米人引揚ぐ  
 十月十四日(月)  
 ▼大政翼賛會三國同盟結成國民大會開催(於東京)米在支保有石油を新嘉坡に輸出開始(大部分は西貢經由重慶)  
 十月十五日(火)  
 ▼御歌會始の御題「漁村の曙」と仰出さる  
 十月十六日(水)  
 ▼靖國の社頭に森嚴極まり無き招魂式の儀行はる

### 目 次

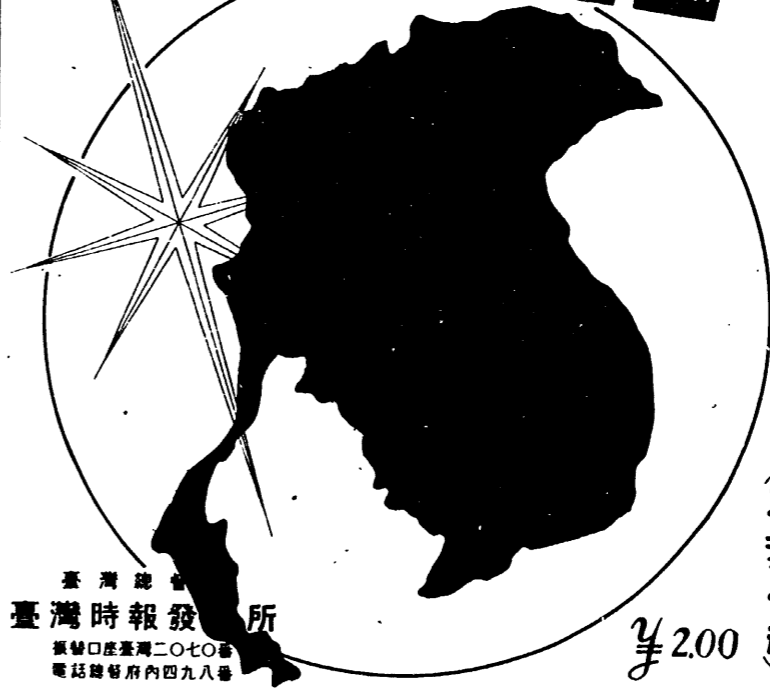
表紙……………皇紀二千六百年奉祝記念に於ける大閱兵式

部報日誌……………情報部…一  
 神武天皇の御聖業……………中村喜代三…二  
 皇恩に浴す臺灣を懐ふ……………下村海南…七  
 佛蘭印度支那事情に就て……………加藤恭平…八  
 佛印の話を聴く(座談會)……………情報部…三  
 「三B」政策に就て……………元  
 審修營を二掃せよ……………警務局警務課…三  
 關印問題と東亞……………鹽谷殿三…五  
 經濟圖の確立……………(上)  
 佛印の女性……………情報部…五  
 木魚の中に入る人……………八雲圓成…六  
 質問欄……………情報部…三

クラフ……………興亞奉公日の總督閣下  
 ……體育の秋酣  
 ……今日のニュース

# 臺灣總督府情報部編

## 佛領印度支那及泰国明細圖



(二葉一組)

臺灣總督府  
 臺灣時報發行所  
 電話口座臺灣二〇七〇番  
 電話總督府內四九八番

2.00

# 神武天皇の御聖業

……榮ある皇紀二千六百年の祝典を迎へ奉りて……

臺北帝大教授 中村喜代三

## 一

御民吾れ生けるしあり天地の  
 榮ゆる時に會へらくおもへば  
 實にも肇國以來、絶えざる躍進と發展の道を歩みつ  
 り、畏くも今や皇威は昭々として世界に輝き、國運の  
 隆盛日に増し、興亞の大業月に進むの時、神武天皇が  
 大和橿原宮に即位の大禮を行はせられてより、正に二  
 千六百年の榮ある歳を迎へ得た事は、我等日本國民と  
 して、無上の幸福と、限りなき喜びとを感ずるのであ  
 る。それと共に今こゝに、神武天皇の御聖業を偲びて、  
 皇紀二千六百年を祝し奉る意義の、極めて深きものあ  
 るを覺えるのである。

## 二

我大日本帝國の基礎は、皇祖天照大神が「豊葦原千  
 五百秋瑞穂國は、是れ吾が子孫の王たるべき地なり、  
 宜しく爾皇孫就て治せ」と仰せられ、皇孫瓊杵尊に  
 三種の神器を授けて、此國に降臨せしめ給ふたの基  
 く事は、改めて申すまでもないことである。瓊杵尊  
 が、この尊き御神勅を受けて天降りまして以来、皇孫  
 は専ら敬神愛民の大御心を以て、御統治遊ばされたの  
 であるが、唯遙かに遠き地方は、皇室の御恵みに當ふ  
 事淺きを免れなかつた。神武天皇はそれを憐れみ給ふ  
 て、大八洲國の西寄りである日向から、東の方國の中  
 央、全日本を治めるのに最も適當な大和に遷り、橿原

に都を開かせられたのである。

それ故に神武天皇の日向より大和への御東遷は、所  
 謂天業の御恢弘に外ならない。天業の御恢弘とは、畏  
 き天津日嗣の大御業を弘め給ふて、天下をより廣く、  
 より良く教化し給はんとする事であつて、是れ即ち天  
 照大神の、天壤無窮の御神勅に答へさせ給ふたのであ  
 る。天皇が橿原宮遷營の詔の中に「上は則ち乾靈の  
 國を授け給ふの徳に答へ」とあるのは、天皇御創業の  
 尊き御神勅が、最も明かに伺はれるのであつて、それ  
 は取りも直さず天照大神が、國を授け給ひし大御心を  
 守らうとの、有難き御趣旨に由るのである。

従つて我皇室が、大八洲國を統治し給ふのは、決し  
 て征服によつてなされるのではなく、不幸無智蒙昧に  
 して、皇室に従ひ奉るべき事を知らぬ者を、仁慈の大  
 御心を以て、よく教へ導き給ふのであつて、それでも  
 猶皇室の御恩徳に背く不逞の輩に對しては、止むなく  
 之を討ち給ふに過ぎぬのである。神武天皇が日向を御  
 出發になつて、大和に入り給ふたのは、實に我國の中  
 央に都を定めて、全國土を御統治遊ばされ、從來私利私  
 慾を逞しくして、亂れてゐた地方の豪族共を教化して、  
 皇威を施し給はんが爲であつて、即ち天照大神の大御

心を、天皇の大御心として、御體得あらせられたので  
 ある。

## 三

神武天皇の御東遷が、天照大神の神意の御繼承であ  
 らせられたと共に、それは又瓊杵尊以後御三代の間、  
 九州に留つて養ひ給ひし正統の大御心を弘め給はむ爲  
 でもあつた。日向御三代の御治績は、悉く正しき心  
 を養ひ、正しき道を進め、正しき生活を導き給ふ大御心  
 に基いて、其御統治を實現遊ばされたものであるが、  
 神武天皇の御東遷は、其基礎全くこゝに固められ、この  
 皇孫の大御心を更により廣く擴充し給ふたのである。  
 天皇が橿原の都を奠め給ふに先だつて仰出された詔  
 に、「下は則ち皇孫正しきを養ひ給ふの心を弘めむ」と  
 あるのは、此事を宣ふたものに外ならぬ。

吉野朝の柱石北畠親房は、その名著神皇正統記に於  
 て、三種の神器に籠れる御意義を解釋し、殊に神鏡に  
 現はれてゐる正直正義の御徳を高調してゐるが、御歴  
 代の天皇が、この御徳を更に養ひ給ふ所に、我皇室の  
 御活動は、深い強い根を有してゐるのであつて、それ  
 が即ち國民の教化となり、同情と仁慈と正大の大御心

を以て、國民を教へ導き養ひ給ふ源となるのである。神武天皇の天和への御東遷は、取りも直さずこの正義の御徳を、より弘く全國民に廣めんとして思召されたものであつて、御歴代の天皇が、内には絶えず仁恵を垂れ給ひて、國民を教化遊ばされ、外は常に正義の御精神に則つて、世界萬邦に對し給ふその大御心の基を、いよくこゝに築かせ給ふたのである。

四

神武天皇の御聖業は、斯やうな譯で、皇祖肇國の神意を受け継ぎ給ふ、天孫降臨以來、多年に亘つて蒙る啓き正しきを養ひ給ふた御徳を、全國に及ぼし給はんが爲であつたが、それは又新しき日本の御創造であつた。二千六百年の古に於て、生命の新たな日本を建設し給ふたのである。所謂天業の御恢弘は、一面に於ては非常なる國家的發展であり、躍進的な皇威の大擴張であつた。さればこそ天皇の御即位を以て、我國の紀元元年と定められ、天皇の御即位が、決して眞の意味の建國でないに拘らず、歴々建國の文字を以て現はされ、或は天皇を始敷天皇と稱へ奉るものも、皆これに因るのである。

それにしても長い間御住ひになつた日向を後に見て、新日本建設の爲に、遠く大和に向ひ給ふた天皇の御決心と御勇斷とは、唯々畏れ多き極みである。道々如何なる敵があつて、その御進路を阻むかも知れない。又幼稚な當時の船は、恐らく今日の想像以上に、海路の御困難さを増した事と拜察せられる。而も斷々乎として、遙か東なる美地への御進發は實現せられたのである。日向から大和に至り給ふまで、その間凡そ六・七年以上を費し給ふた事に依つても、果して途中の御障礙は如何ばかりであつたらうか。漸く難波に着き給ふて後も、直ちに大和に入り給ふ事が出来ず、止むなく道を變へて南に廻り、紀伊から熊野の險を越え、紀伊、伊勢、大和の間に横はる深山幽谷を踏破し給ふたが、その途中容易ならざる御困難に、幾度か遭遇遊ばされ、或時には殆んど進退に窮し給ふやうな事さへないではなかつた。而も大和に入らせられても、至る所の村里には、夫々酋長を上へ頂いて、互に境を立て、相凌ぎ争ふ有様であつたのである。

五

かゝる幾多の御艱難、容易ならざる困苦に打勝ち給

ひて後、始めて天皇は、新日本の基礎を、いや堅くも固めさせられたのである。かゝる數々の大なる御困難があつたといふ事は、それ丈神武天皇の天業の御恢弘が、如何に大きな事業であり、新日本の建設が、如何に大きな發展であつたかを物語るものである。

天皇大和を平定し給ふや、畝傍山の東南檜原の地を見給ふて、蓋し國の境區か、都造るべしと宣ひ、辛酉の年春正月、此宮にて即位の大禮を行はせられたのであるが、始め檜原に都を造り給ふや、詔して「六合を兼ねて以て都を開く、八紘を掩ひて宇と爲むこと、亦可からずや」と仰せられた。國の内をそのまゝに都とせられることも、天下を廣く掩ふて我日本の一家とせられる事も、眞に非常なる御奮闘御努力を以て、諸々の御艱苦に打勝ち給ひて後に於てこそ、仰がるゝ大御心である。國內に幾多の虜共を服せしめ、鎮めさせられ、四邊八荒を整へ給ひ、然る上に於て、そこに新日本の輝く御稜威の光が尊く拜せられるのであり、新日本の現然たる姿が窺はれるのである。此意味に於て神武天皇の御東遷は、それは即ち皇國日本の、新しき歴史の創造と云はなければならぬ。

六

祖孫一體、君民一體は、是れ我國の大道であるが、その淵源は又神武天皇御創業の歴史の中に、最もよく仰ぎ見られるのである。天皇が熊野路で御惱み遊ばされ、皇軍の振はなかつた際に、天照大神の御靈は、御靈の靈剣を下して、皇軍の士氣を鼓舞し給ひ、次いで大和に入る道が、峻嶮で困難を極めた時、天皇の御夢に、天照大神が、八咫鳥を遣はして、國の導きとするといふ御訓へがあり、果して御夢の通りの事があつたので、天皇は大に御喜びになり、「大哉赫矣、我皇祖天照大神、其業を助け成さむと欲せるか」と仰せられた。永遠に皇室を御加護あらせらるゝ大神の御神靈、之に對する天皇の御信念、即ち祖孫一體となり給ふて、こゝに天皇の御聖業は進展したのである。

祖孫一體は、獨り皇室に於かせられてのみならず、臣民も亦同様であつて、天孫降臨に隨從した神々の子孫は、同じく神武天皇の御聖業を翼賛し奉つた人々であつた。即ち天兒屋命の子孫天種子命は、侍臣となつて、祭祀の職を奉じ、太玉命の後裔天富命は、諸々の忌部を率ゐて皇居を造營し、祭祀の事に従ひ、天



錫女命の後なる瓊女君は、神樂の業を奉仕し、又皇軍の先導となつて功績の著しかつた道。臣命は、天孫降臨の際、御前に仕へて先驅をした天忍日命の子孫である。

臣民に於ても、常に祖孫一體となつて、國家の大業を襄賛し奉つたのであつて、この祖孫一體の皇室と、同じく祖孫一體の臣民とが、更に上下君臣一體となつて、百難を凌ぎ、非常なる努力と、非常なる忍耐と、不撓不屈の精神とを以て、我日本永遠の確乎たる基礎を、作り上げる事となつたのである。我々日本國民は、この祖孫一體、君臣一體、惹いては忠孝一致の貴き大精神に就いて、深く思ひを廻らし、常に學ぶ所がなければならぬ。

七

悠久二千六百年、皇國の文化は燦として、世界無比の輝きを示し、國體の精華は嚴として、萬邦に冠たるの秋を迎へ、この會ひ難き大御代に會ひ奉る事を得た我等日本國民は、實に生ける甲斐のあつた事を衷心感ずるのであるが、願つて我國周囲の現状は如何といふのに、今や世界の歴史は新段階に入り、我日本は、東

亞の盟主として、新秩序建設の大使命に邁進しつゝあるのである。我等國民に課せられた使命は、誠に重大であり、頗る困難なものではあるが、然し乍ら、我等は遠く皇國の淵源を尋ねて、神武天皇御創業の八紘一宇の大精神を絶対の規範と仰ぎ、確固たる國民的信念を以て中外に臨むならば、日本國民の大使命を果す事も、敢て難事ではないと固く信ずるのである。

神武天皇の御聖業が、新日本の創造であつたやうに、この昭和の大御代は、また新なる力を得て、眞に世界的な新日本の巨大なる歩みを、こゝに實現せんとしてゐるのである。世界の歴史は轉換せんとし、而も世界史轉換の役目は、正に我日本こそそれを背負つて立つてゐるのである。悠遠の古よりこの方、幾多の困難を凌いで永遠に生々發展の歴史を履める我日本國民は、今日實に輝やかしくも亦、我國未曾有の非常時局をよく自覺し、この二千六百年の佳辰に際し、遙かに神武天皇御創業の大精神に答へ奉り、世界史轉換の大使命を、完全に果して、天皇の御微慮に副ひ奉るべき事を深く心に期しなければならぬ。

# 皇恩に浴す臺灣を懷ふ

下村海南

臺灣と印度支那とは海をへだて、文化をすゝめる土地と、すゝめざる土地の大きなコントラストをつくつてゐると思ふ。

たまく佛印について執筆中であるが、かねて臺灣在職中にも佛印は母國からの移入品を無税、その他は重く課税して差等をつけてゐる。日本からの品物などは尤も重く課税されてゐる。土民は全く文化に浴する事が出来ない。苦力賃は十五六錢であつたのが、近頃漸く二十六七錢になつたといふ。教育は或る條件資格を添へなければ

施して貰へない。教育を現地なり、中にはフランスへ出かけて、修學して一切登庸されないものである。巡査になるのがせいふで、それもフランス巡査の給料の十分の一だといふ。かうした記事はどこまで信用してよいか分らないが、フランスの勢力下となりて百年に垂んとしてゐる。それで、河内、海防の方面から西貢へといへば、大小の別があるが、臺北基隆から高雄へといふに同様である。此間の鐵道はやつと最近全通した位であるからその遅々として進まざる事だけは否定できない。

現下國際狀勢は轉々として動いて止まないが天下は廣い。一方でのびやうとするのを押へぬくところもあれば、一方ではそれアヘンそれバクチ、それ注射、それ隔離とあまりにも世話を焼きすぎることもある。

紀元二千六百年奉祝記念號に督促の玉信を手にして今京都高等蠶絲學校の一室でたまく眼を通しつゝあつた佛印記事の一節を録し、どうか南進すべき臺灣の朝野の人々に南洋一帯の土を親しく踏んで、さうして臺灣をかへり見てほしいといふ念をのべて。

一九一九日



# 佛領印度支那事情

に就て  
加藤 恭平

序 言

佛領印度支那はアジヤ大陸の東南部印度支那半島の東半を占め、その領域は西はビルマ、タイ兩國に續き、北は廣東、廣西、雲南の支那の諸省に隣りし、南西はタイ灣、東は南支那海に臨んでゐる。全領域は四保護領、一植民地に分れてゐる。即ち最北部を占める

のが東京で、その南に安南が南支那海に面する。西部にラオス、この南にカンボチャ、最南端を交趾支那植民地が占めてゐる。總面積は佛國本土の二倍半、即ち七十三萬七千方、日本との面積に比し約六萬五千五百平方呎丈大きい。人口は昭和十二年末に於て二千三百萬人餘で安南人が大部分即ち一千六百餘萬人である。在留邦人は僅かに三百三十人に過ぎない。北部東京、安南方面は概して地下資源に富み、南部交趾支那、カンボチャは農林地帯と云つて差支ない。土地は概して肥沃、農業に適し、米の如きは作付面積約五百四十五萬町歩で自米年産額は二四、五三〇、〇〇〇石に達し、農産品の大宗的地位を占めて居る。

米の外に護謨、玉蜀黍、甘蔗、コーヒ、胡椒、茶、棉、椰子、漆等があるが、其産額は米に比すれば極めて微

々たるものである。

ラオスは林産資源の中心地であるが、其の林産は僅に自給自足し得る状態なるにも不拘、山地には未開發の地帯多く、工作用材として約七五〇、〇〇〇立方米を、薪炭材として三三、〇〇〇萬を輸入しつゝある現状にある。

佛印政府では之が對策として林道の開發及び造林實施に努めつゝあると傳へられて居る。

樹木の種類も多様であるが、チーク其他の高級用材に富んで居る。鑛物資源は石炭、鐵、亞鉛(銀鉛)、錫、燐磺石、アンチモニー、タングステン、矽砂等極めて豊富であつて東亞プロツクに於ける重要な鑛業地域とされて居る。

然るに佛國は此の印度支那に對し極端なる鎖國主義を執り、外國資本の侵入を忌避し、土人の利益を無視して外

國資本及び商品の輸入を飽くまで阻止する政策を堅持して來た。

教育の如きも體裁文は整へてゐるが、安南人の入學を困難にして人民に教育を施す事を好まない。又安南人の國外に出る事を極度に警戒して一度國外に出た者には歸國を許さなかつたのである。

しかしして支那事變が勃發するや、露

骨極まる援蔭態度をとり、各種軍需品及び其他の抗日資材は河内、諒山等から滇越鐵道、其他のルートに依り續々重慶、昆明へ輸送した。

援蔭ルートとしては赤色ルート及びビルマルットの二ルートがあつたが、輸送力に於て佛印ルートが第一位で、以上三ルート輸送量の七〇%以上を佛印ルートによつて占めて居たと或る

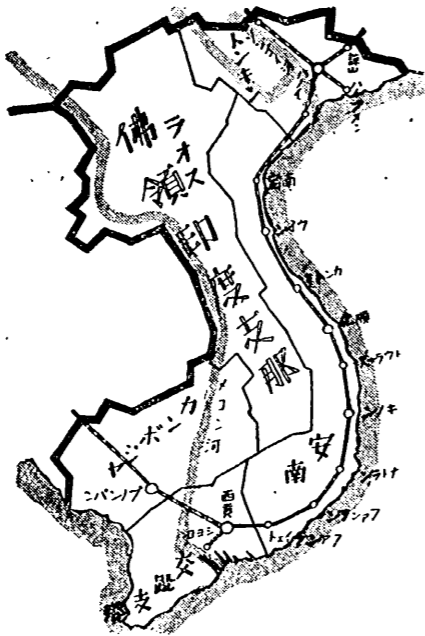
ルートを自發的に閉鎖することを申出たが、佛印ルートの閉鎖は、決して佛國が交友上自發的にやつたものではなく、歐洲情勢の變化に胚胎するものと思はれるのである。

### 政治機構

佛印の行政機構は中央と地方とに分れて居り、統治の最高機關は佛國大統領によつて任命されたる總督である。

總督は本國の植民地大臣の職權を代行するものであり、行政、立法、司法の各分野に互つて廣範圍の職能を遂行出来るのである。従つて行政の最高機關は總督府であり、最高長官は總督である。總督の補佐として總務長官を置いて居る點などは我が臺灣の官制に酷似して居り、其の職能に於いても大同小異である。

地方行政機關としては佛國の直轄植



軍事通は述べて居る。吾國は本年六月十六日アムニリー駐佛國大使に對し、援蔭行為の徹底的取締につき嚴重警告を發した。之の警告に對しアムニリー大使は六月二十日、佛印

民地たる交趾支那には植民地願があるが、東京、安南、カンボヂヤ、ラオスの四保護領には何れも理事廳を置いて政務を統監して居る。即ち舊王國の政治機關を存置せしめてゐることは特徴であつて、之等の保護領には各々特殊の行政機關を置いてある。

即ち保護領であると言ふ建前から土民の王様を其儘存置して王様の行政が形式的に行はれて居る様に思はしめて居るが、その實質は自治機關程度しか認められて居ない、所詮印度支那總督の傀儡に過ぎないのである。

### 財政と金融

佛印の財政は中央財政と地方財政とより成り、地方財政は更に各邦財政と、其の下級團體である州財政とに分れて居る。中央財政の豫算は經濟最高會議の諮問を経て總督によつて決定さ

れる。更に本國植民地大臣の提議に基き、閣議を経て大統領令を以て裁決されるのである。而して總豫算は關稅、政府の專賣收入、間接發稅、郵稅及び鐵道收入等によつて維持し、軍事費、裁判所費、公共事業費等に支出せられるが、其他全地方に關聯する事項にも支出する。

金融機關としては、發券中央銀行として印度支那銀行があり、其他佛國系銀行の外に英、支等の外國銀行支店及び代理店があり、又庶民金融機關としては市營質舖、支那人及び印度人の高利貸がある。近代金融機關は主として不動産銀行とか、爲替銀行で普通銀行は極めて少ないのである。

### 邦人の環境

佛印と我國との交易は遠く豊臣時代に始まつて居たが、折角の南方進出の

端緒も徳川三百年に互る鎖國政策に編まれて龍頭をして蛇尾に終らしめて居る。今でも安南のツーランの南方に日本村の遺跡があり、日本流の石橋などが残つて居る。

明治の末葉に至つて南方進出の機運が擡頭したが、佛印の排他的鎖國政策の爲企業は勿論、貿易方面への進出すら不可能であつた。一九三二年に於ける日佛通商協定に依り、貿易關係は稍々改善されたかの觀を呈したが、實績上には何等見るべきものはなかつたのである。而して支那事變の勃發以來佛印當局は一層露骨なる反日援蔣の政策を執るに至つた。即ち昭和五年には日本人總計四百五人に比し昭和十二年には三百三十人に減じて居る。其原因は必ずしも支那事變の影響のみではない。十年一日の如く、邦人の入國に對して佛印政府が壓迫を加へ來つた爲で

あつたのである。

### 産業事情

佛印に於ける産業の主體は農業であり、米作は其の大宗であることは既に述べて來た通りで、西貢米は暹甸米、暹羅米と共に世界三大輸出米として有名である。而して佛印に於ける米の栽培面積は、一九三二年より一九三六年間に於ける五箇年の年平均作付は五百四十五萬町歩で、我國に於ける作付面積三百二十萬町歩餘に比すれば四割強廣いのである。

之を地方別にすると交趾支那約二百二十萬町歩、東京約百三十萬町歩でこの兩地方が大部分を占めて居り、佛印の産米は世界總生産額の約三・五%を占め、世界第五位の生産地である。

水田適地を決定する條件は御承知の如く土壤、氣温、雨量等であるが、之に

次ぐ條件として見逃し得ないものは技術である。佛印は高温且つ多濕なるため米作に好適であつて湿度、雨量の關係により腐蝕物豊富となり土壤をして豊沃ならしめて居る點も首肯出来る。また氣温も一箇年を通じて攝氏二十五度乃至三十五度を上下し、湿度も五十五度乃至九十度の間を往來し、米の收穫期中は最高平均七十五度とされ、凡有角度から見ても米作適地と認められて居るに不拘、作付面積に比し收穫之に伴なはないのは水害も重大な原因であるが、栽培技術の幼稚と栽培法がまだ原始的方法を逸脱してゐない點に因るのではないかと思はれる。即ち作付面積に於て日本の四割も廣いに拘らず、其の收穫は反對に日本の二分の一にも及ばない状態である。我邦の米作技術を輸入したなら其産額を著しく増加し得る事は言を要せない處である。

佛印輸出米は大部分交趾支那州の産米であつて、西貢港より輸出せらるる所謂西貢米である。而して其の輸出量は佛印全輸出量の約九十七%を占め、海防から輸出せらるる、東京米の輸出は僅かに三%に過ぎない状態である。其の他の農業に就いては既に述べた通り、寧ろ今後に期待すべきものであつて、就中護謨、棉花、甘蔗の取得に對しては重大關心を拂ふ必要があらうと思はれる。尤も護謨は既に約七萬噸の産出に達し、最も重要な林産品と申してもよろしく我邦にとりても亦大切なものと思ふ。

乍然何と申しても佛印の礦産資源は最も注目を要するものであつて石炭を始め鐵、亞鉛、燐礦石、アンチモン、タングステン等の重要資源を多量に埋藏し、既に邦人資本に依つて幾分か企業化されて居るが、まだ正確な



る科學的調査は出来て居ない。我邦として五割以上を獨占し、輸出に於ても三割強を獨占して居る。關つて本邦對佛印貿易は關稅障壁の爲片貿易となつて居り連年夥しい吾國への入超を續けて居るのである。

### 貿易事情

貿易事情を簡単に述べてみると、一九三三年に於ける日佛通商協定も對佛印貿易に於ては何等の意義を有せず、昭和七年以降世界各市場に目覺しい發展を遂げた我が對外貿易も佛印市場に於ては關稅障壁に妨げられて極度に不振状態を續けて居る。

前にも述べた如く佛本國は、自國製品を無稅輸入とし佛印市場の獨占を策して今日に及んで居る。吾國に對しては禁止的高稅を賦課して輸入を防止して居る。昨年佛印の對外貿易に就いて見ても輸出三十四億九千五百萬フラン、輸入二十三億八千三百萬フランとなつて居るが、佛本國は毎年輸入に於

て五割以上を獨占し、輸出に於ても三割強を獨占して居る。關つて本邦對佛印貿易は關稅障壁の爲片貿易となつて居り連年夥しい吾國への入超を續けて居るのである。

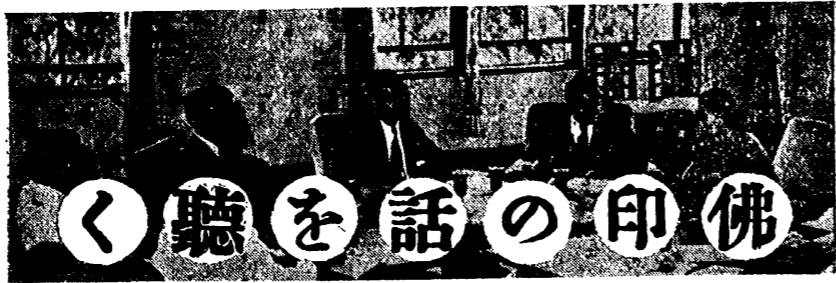
### 結 言

獨・伊樞軸に依り歐洲の新秩序は著々として結實しつつあるが、其必然の流れれとして極東の現状維持も次第に困難とならざるを得ない。佛印は東亞に於ける重要地域たることは、交通上の要衝である點からも地理的、民族的關係からも所謂東亞プロックの圏外に立つ事は出来ない。東亞新體制の建設上、東亞諸國の持つ資源、資本、知識、技術、勞働力等を相互連結して、東亞民族の福祉、吾世界民族全體の經濟福利を増進することが窮極の目的でなくてはならない。この意味に於て佛印が東

亞新秩序建設の一翼として近頃登場し來たつたことは當然の歸結とは謂ひ乍ら眞に欣快に堪へない次第である。今次の支那事變に於て、佛印が強力なる援將ルートとして、徒に事變の解決を遲延せしめたことは蔽ふべくもな

く餘りに明白な事實ではあるが、ともあれ一應援將行爲の禁絶を堅く誓約し、更に九月二十三日の日佛協定によつて日本の駐兵權を承認した。想ふにこの結果に到達する迄には相當の迂餘曲折を経て來たのであるが、結局佛本國の敗戦に因る歐洲情勢の急變と、帝國不退轉の決意に歸屬すべきは燎原の火の如く明瞭である。帝國は東亞の盟主として今後雙肩に懸る責任の重大さを自覺すると共に人的及び物的資源の凡てを動員して舉國的體制下に有終の成果を獲得すべく努力を拂ふべきであらう。

(完)



## 佛印の話を聴く

大塚 本日はお忙しい處をお集り下さいまして、誠に有難うございました。此度の日・佛印交渉に際しお引揚げになられた皆様は、目下各國注視の的になつてゐる佛印の現状に就て、お話を伺ひたいと思ひます。むづかしい話は抜きにして、皆様か御覽になつたまゝの佛印の現状を、お話願ひ度いと思ひます。

（カト喜真は右より  
飯島、堀、清水、太田、大塚の諸氏）

堀 私達は會社の仕事で、彼方に參つて居ましたが、まだ日が浅く、しかも河内にはかり居りまして、殆んど外に出る機会などもなく、田舎の方の事は餘りくわしくは存じませんが……。

### 佛印の氣候、風俗

大塚 いったい、佛印にゐる在

留邦人、就中本島人の數はどれ位ですか、また生活はどんな風ですか、それから伺ひたいと思ひますが……。

堀 本島人は主に南部に多く、北部には殆んど居ないやうです。佛印は風土なども察しる内地より住み良い様に思はれます。例へば濕氣なども相當高く、内地人はよく熱い／＼といふが、實際寒暖計は三十度以上を示すことは、極く稀です。尤もこれは河内の事ですが、南部は割に乾燥してゐる様ですから、本島人はむしろ、河内、海防邊りで仕事をするのが氣候的に見て最も適してゐるのではないかと

思ひます。西貢では大分活躍してゐる様です。  
清水 私は最初河内に着いた時

には、濕度が高いせいか、頭が重く、何か重い物でも冠つてゐる様な氣がしてなりませんでした。それも一週間はかりすると、すつかり治りましたが……。私はむしろ乾燥した西貢の方が健康的だと思ひますがね……。

堀 僕はさう思はないなあ。  
清水 濕度は九十何々もありますからね……。  
太田 河内では雨期になると、

### 出席者

- 印度支那産業會社取締役 堤 秀夫
- 臺灣拓殖會社 員 清水正清
- 同 太田義治
- 同 渡邊テル子
- 情報部事務官 大塚 正
- 第二宣傳係 中越菜二

袍に入れてある衣類まで襦が  
生へますからね。

中継 本島人は昔は少し居たら  
しいのですが、現在は少い方  
でせうね。

大塚 あちらの雨期といふは何  
月頃でせう。

中継 十二月頃から始ります  
が、やはり一番ひどいのは三  
月でせうね。それも霧雨の様  
な、降つてゐるか居ないか分  
らない様な雨が續くのです。

本田 私は時期が良かったのか  
河内とは實に氣候の良い處だ  
と思ひました。

中継 河内は臺北市と同じ位な  
ものでせうか。  
大塚 え、大體同じ位ですが  
何しろ、たゞ広いといふ感じ  
がしますね。建物が殆んど二  
階建て、三階といふのは珍し  
い位ですから、そんな感じが

するのかもしれない。河内  
から七十軒ばかり離れた處  
に、タムダオといふ避暑地が  
ありますが、此處は汪兆銘が  
重慶政府から脱出して、隠れ  
てゐたといふので有名です。

大塚 堤さん、河内には随分乞  
食が多いですね。  
中継 私は少いと思ひますね。  
本當の乞食といふよりも、そ  
の場乞食といひますか、その  
時によつて急に乞食に轉向す  
るのが居るのです。(笑聲)

大塚 私も聞いたのですが、何  
でも乞食狩つていふのがあ  
るさうです。乞食を集めてト  
ツクで田舎へ捨て、來るんだ  
さうですが、(笑聲) 随分ひ  
どい事をするもんですわ。  
やはり佛蘭西政府の植民地政  
策を表現する一つのあらはれ  
ではないでせうか。

中継 安南人は随分みじめな生  
活をしてゐます。殆んど農業  
で、その間に入夫として雇は  
れるんですが、その賃金が最  
低一日男が三十五仙、女が二  
十八仙位です。

大塚 安南人は意行者で、賃金  
は安いがよく働かないので、  
結局赤字です。もつと教育  
して働かせる様にしないで  
は……。

中継 安南人に特に變つた風習  
といふ様なものはありません  
か。  
大塚 變つたといふと、檳榔樹  
の實を噛む事ですね。

中継 檳榔樹の實は殆んど全部  
が噛みます。その實の實買で  
相場が立つ程ですからね。  
安南人はお客様が來ても、  
お茶を出すよりはむしろ檳榔  
樹の實を出す方が接待がいゝ

と言はれてゐる位です。  
中継 女も噛むのですか。

大塚 え、男も女も……。

中継 最近は何階級の者は噛まな  
い様です。その他に變つた習  
慣といふと……。

大塚 葬式は土葬でしたね。  
中継 さうです。それで、私達、  
「此處で死んでも骨を國に持  
つて歸れないな……」と笑つ  
た事がありますが、葬式はす  
べて土葬です。

大塚 火葬場もありましたわ。  
中継 あれは日本人が、特に造  
つたんださうですよ、それも  
何でも期限つきとかで……。

大塚 それでもお祭などといふ  
と此方の本島人の様に随分派  
手にやりますわ。  
中継 私達が引揚げる頃が丁度

秋祭り(日本の中秋の観月會)

で、随分賑やかに騒いでゐま  
した。それで不思議なこと  
は、お祭の大鼓とか飾付など  
が實に日本と似てゐる事だ  
です。私は何だか安南人と日本  
人の祖先が同じぢやないかと  
變な氣がしました。

大塚 やはり南緯船の影響でせ  
うね。

中継 日本に似てゐるといへ  
ば、安南人は必ず帯をしめて  
ゐますわ。初めて來られた方  
などは随分不思議がります  
清水 それも前結びです。

### 衛生、教育

中継 衛生状態はどうでせう。  
大塚 マラリアがありますか、  
それも田舎の方だけです。デ  
ング熱といひますか、そんな

ものがありました。此の二人  
(清水氏と渡邊氏を指し)も  
かかりました。四十度からの  
熱が出るのですが、生命には  
別條がないといふことです。

中継 やはりマラリアの様にキ  
ニーネか何か飲むんですか。  
大塚 アスピリンとフェナセチ  
ンといふ薬を合せて飲むとす  
ぐ熱が下ります。

大塚 市内にはマラリアはない  
んですね。  
中継 ありません。河内や海防  
などは非常に衛生設備が整つ  
てゐますから……。

大塚 下水なども此方の様にむ  
き出しではありません。  
中継 水はどうでせう。  
大塚 悪いですなあ。石灰が多  
く、その他の不純物も大分含  
んでゐます。それで生水は絶  
對に飲めませんからね……。

大塚 水道は……。

中継 井戸水をくみ上げて貯水  
して、それを水道として使用  
してゐるのですが、一度濾過  
して煮沸してからでないと思  
用されません。コップに取る  
と、石灰の粉の様なものが一  
面に沈殿する様な有様です。

大塚 衛生施設はどんなもので  
せう。例へば病院などは。  
中継 相當行き渡つてゐます  
が、面白いことには治療の病  
院が大分あります。これは主  
に安南人が入るのですが病氣  
をして一番悪い時に入れるの  
で、少し快方に向ふと今度は  
普通の病院に遷す事になつて  
ゐます。それはアナミットが  
金がないので、特にそんな施  
設になつてゐるのです。

中継 アナミットとは……。

大塚 安南人の事を彼方ではさ  
う言ふのです。

中継 蠅が居ないのは不思議で  
すね。殆んど蠅を見る事があ  
りませんよ……。

大塚 その代り蚊が物凄く居り  
ます。實に多いですなあ。  
中継 日中から居るんですから  
堪りませんよ。

大塚 中にはとんぼの様な大き  
な蚊が居ますからね。(笑聲)  
中継 教育施設はどうです。  
大塚 義務教育制度ではありま  
せんが、一箇月五十仙位の月  
謝をとつて、安南人のために  
晝夜教へてゐる日本の寺小  
屋式のものがあります。佛  
國政府のやつてゐる臺灣の  
公學校程度のももありま  
す。その上になりますと、中  
學校程度のもがあります  
が、これはリーセイといつて

中等學校より高く、専門學校より低いといふ、アメリカのハイスクールの様なもので此處を出て大學に入ります。河内大學などは相當なものですよ。極東大學などもありますが、教育施設は相當徹底してゐるやうです。

清水 また、ラヂウム研究所などもあります。

渡邊 面白いことには、彼方ではお隣者といふのが、専攻でなしに、何でもやる事です。そして、診断をするにも決して聴診器を使はない。患者に舌を出させて、それを見て歸つて行きます。それに醫者は投薬をしません。處方箋を書いて貰つて、それを薬局に持つて行つて薬を買ふのです。

### 佛の植民地政策

大塚 佛國政府の植民地政策に對して安南人はどういふ考へをもつてゐるやうか。

堀 此度の日佛交渉でも、決裂した場合、果して安南人はどちらにつくだらうかと疑問視された程、佛國政府に對して反感を持つてゐます。何かの機會に獨立したいといふ感じはたしかに見えます。

渡邊 それだけに日本人に對して割に親しみを持つてゐると思ひます。私達が歸る時なども、私達の船まで来て「又歸つて来るか」といふことゝなりました。

大塚 獨立問題に關してはどんな意向を持つてゐるのでせうか。

清水 十幾年前は革命などもあつて、大分烈しい運動も起つたらしいのですが、今でもその殘黨が残つてゐるといふ事では、私はある安南人の辯護士に聞いたのですが、獨立は望むが、前の古い王様が主權者となるのでは厭だと言つてゐました。

中越 それは佛蘭西の教育を受けた人でせう。

渡邊 え、さうです。

堀 安南人が佛人と訴訟事を起した場合でも、必ず佛人が勝つ事に決つてゐます。

大塚 安南人の對日本人への感情はどうでせうか。

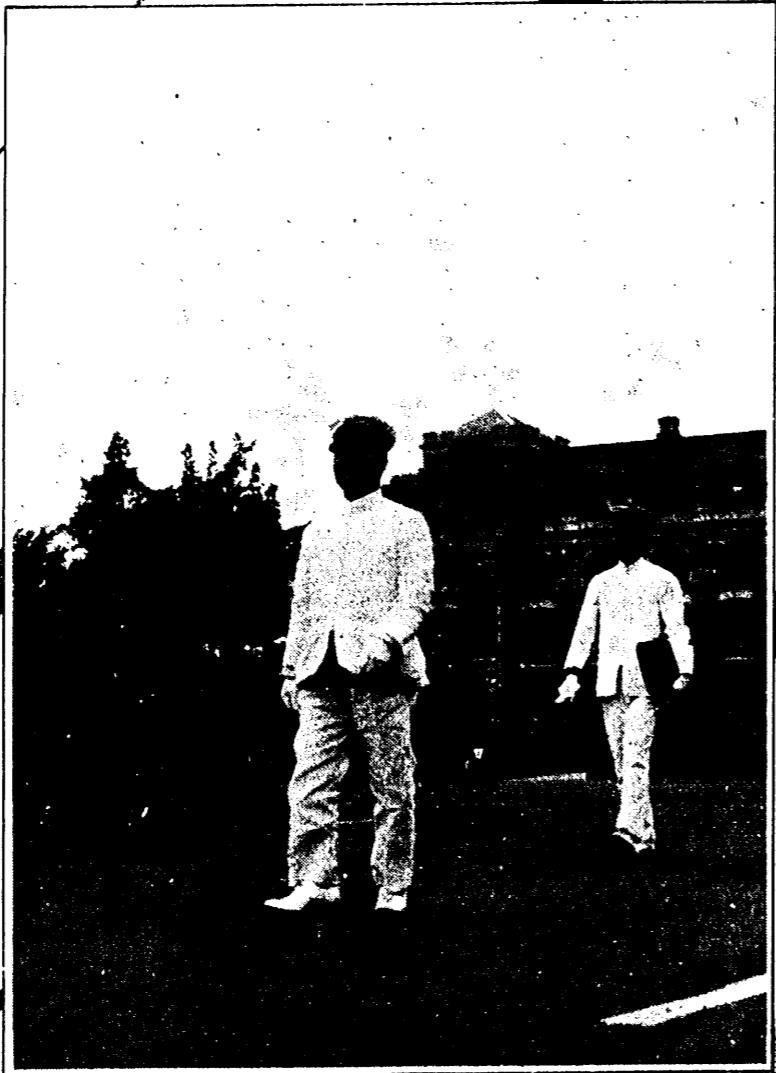
堀 先程渡邊さんからお話があつた様に、日本人に對しては親しみを持つてゐますが、やはり日本人が彼方でも佛人同様な待遇を受けて居ますので、佛人に對すると同じ様な、恐怖心の様なものを抱いてゐる様です。例へば安南人のボーイが日本人の部屋に入る時などでも、必ずドアの前でスリッパを脱いで跣足で入りますからね……。

本田 だが、安南人でも知識階級の人達は、よく日本を理解して、日本は佛蘭西以上の國であるといふ事は知つてゐる様です。

清水 一般に日本人には佛人より好感を持つてゐる事は確かです。

大塚 佛蘭西政府は佛印政策といふものに對して、根本的な改竄といふ様なものを持つてゐるものでせうか、例へば臺灣に於ける皇民化とか、工業化とかいふ様な……。

堀 ××××以外何もないと思ひます。日本人と接觸させるのさへ厭がつてゐます。

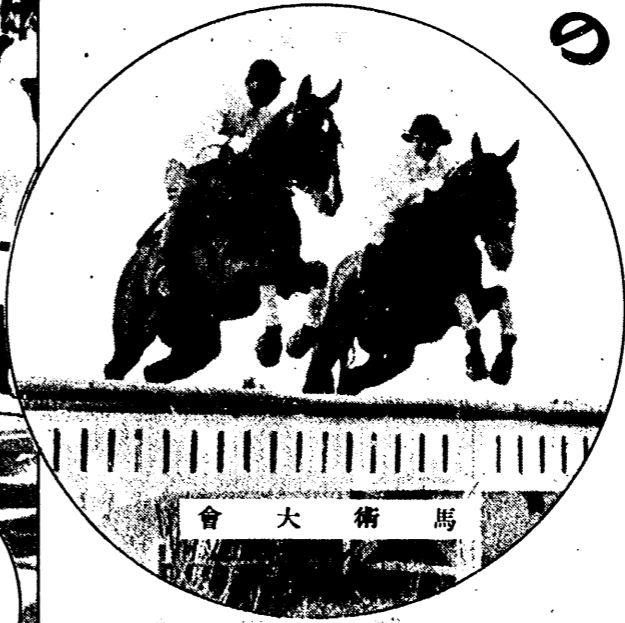


歩け  
體位向上とガソリン  
節約を目指す生活の  
新體制  
×  
興亞奉公日の  
實踐躬行  
徒歩にて  
登壇(退壇)の  
われ等の小林總督

體育

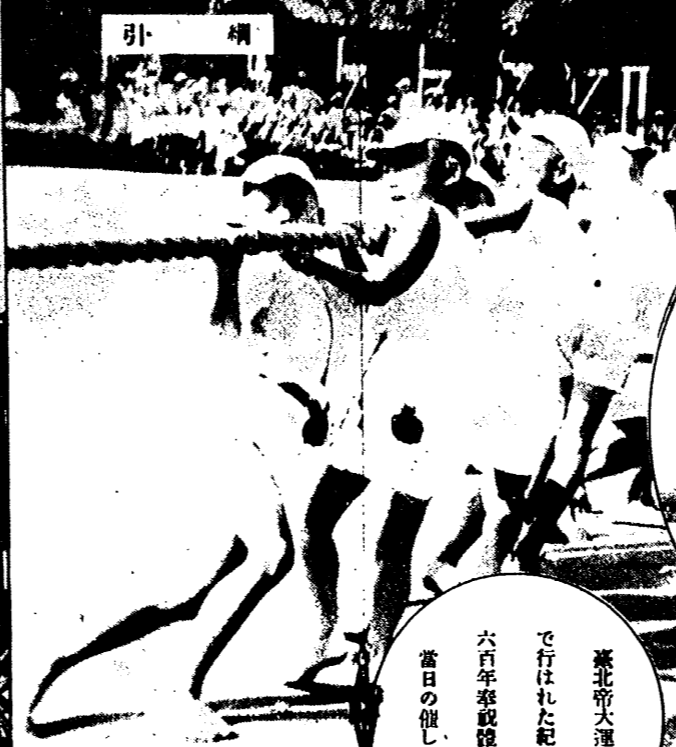
の

秋  
詣



馬術大會

東北帝大運動場  
で行はれた紀元二千  
六百年奉祝體育大會  
當日の催しもの。



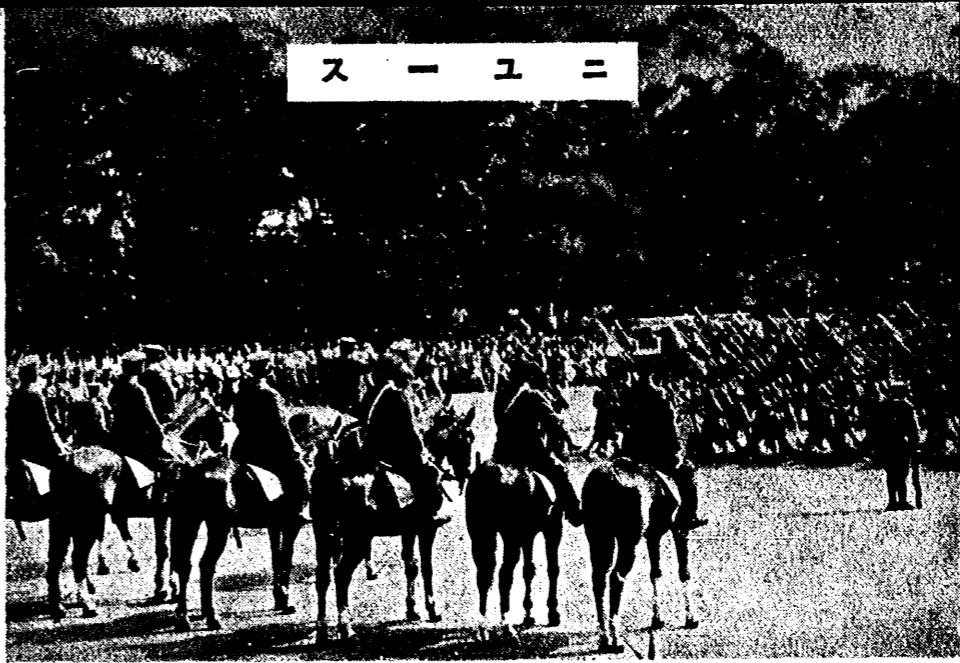
少年組の野外劍舞



民族舞踊



音楽隊を先頭に運動場一周



無敵皇軍の威容を示し、洗後輝軍學生々徒の意氣を昂揚する紀元二千六百年奉祝大朝兵式は秋氣一人濃き十月二十一日午前九時半から總督府前に於て盛大厳肅に舉行され一大軍國繪巻を展開した。



といふのは、彼等安南人が知識的に向上するのを怖れてゐるのですな……。

大塚 映畫館などでせう。

清水 割に多いですが、實に汚い。河内に、エデン、パジエスティック等と相等大きなのがありますが。

### 佛印の文化

大塚 新聞などはどうてせう。

堀 現在のところ、ハノイのワール、これは佛蘭西語です。それに土語のドンハツプ、これが夫々發行部數、二萬位でせうな。それにアベニール・トンキンといふ五千部程の御用新聞もあります。支那新聞などありますが、一般に大衆の程度が低いので發行部數は日本とは比較にならない程、僅かです。

太田 それに書店がないですわ。河内で私の知つてゐるの

は漸く二、三軒しかありません。

大塚 映畫館などでせう。

清水 割に多いですが、實に汚い。河内に、エデン、パジエスティック等と相等大きなのがありますが。

大塚 ファイルムは……。

清水 佛蘭西、米國、獨逸物などありますが、小さい處は小屋掛式なものです。それに支那のものもありますね。

大塚 やはり何といつても佛蘭西物が一番多い様ですわ。今度の獨佛戰爭當時はニュース物が多かつた様ですが、それもみんな佛蘭西が勝つてゐる様な物ばかりでした。それが、佛蘭西が降伏してしまふと、ぼつたりなくなつて、その代り思ひ出の佛蘭西とか、マル

セーユとかいふ様な懐古的なものが出て來ました。

大塚 敗戦後の佛蘭西人の氣持といふものはどんなものでせう。

堀 佛蘭西人といふのは實にのんきなものですわ。やはり戰爭に敗けたといふ事は知つてゐる様ですが。

大塚 降伏のニュースが入つた日でも、兵隊達はバーで酒を飲んで騒いでゐましたからね……。呆れてしまいますわ……。

太田 でもダンスだけは禁じられましたね。

堀 え、ダンスと競馬だけは禁止された様ですが、競馬は間もなく復活した様ですよ。

### 華僑の動靜

大塚 華僑と安南人は見分けがつかずか。

堀 女は分りますが、男は一寸分りにくいすね。

清水 支那人の女は斷髪をしてゐますが、安南人の女は捲髪といひますか、長くしてゐますから……。

大塚 日本人に對する華僑の態度はどんなものでせうか。

堀 最近ハリーが陥落し、重慶政權がまた危いといふので、華僑達も日本の本當の力を知つて、日本人を大事にする様ですが、華僑といつても、二世、三世が多くて殆んど安南人と變りませんからわ。

太田 安南人はむしろ支那人を厭がつてゐる様です。この間も支那人の入つてゐる借家の



家主に、家賃を上げてもらい、自分達を入れて呉れといふ様な事を言つてみました。

清水 それはつまり、此度の支那事變で支那人の避難民が、人々入つて来るので、物價は高くなるし、厭がるんですね……。

編 安南人と支那人とは昔から相争つてゐる様ですね、數に於ては安南人が勝つが、やはり商賣となると支那人に負けるらしいのです。支那人は實に根強いですからね。「青田で賣買する」といふ奴で、狡猾的なやり方ですから、佛印を開拓するには安南人よりむしろ、私は支那華僑を利用しなければならぬと思ひます。

を買はうとすれば先ず佛蘭西製、次が支那、その次が安南製といふ順序になりますからね。

### 産 業

中越 佛印の鑛産資源はどうてせう。相當有望でせうか。

編 有望ですな……相當ある上に、行けばすぐ採掘出来る様な状態にあるのですから、鑛石質なども現在調査されてゐる處もありますが、まだ未調査のところは澤山あつて、やり方さへ良ければ幾らでも採れると思ひます。また、農産物などにしても、米や、高粱など喜んで輸出するのですから。

中越 米は矢張り臺灣の様に二毛作ですか。

編 え、二毛作ですが、土

地が廣いので一度收穫が終ればその土地は使用せずに、他の土地を使ふのです。

中越 それも、肥料など全く使はないのですから……。

編 やり方によつては現在の倍以上の收穫は得られると思ひます。

中越 臺灣の輪作の様なやり方ですね。では、日本の經濟進出地としての佛印に有望だといふ事になりますね。

編 え、進出場所としては有望ですが、逆に日本から輸出する相手としては全く駄目です。購買力がないんです。安南人達は生活程度が低いので、まづ生活程度の向上を計つてからでないと、日本のマーケットとしては不向きですね。結局、片貿易になると思ひます。

大塚 此の間の日泰航空松風號の事件について……。

編 私達が歸る時も松風號は田圃の畦道の所にそのままになつてしまつたが、何でも航空中、平生は外側のタンクのガソリンを使用してゐたのだが、その日に限つて内側のタンクを使用したのださうです。それで丁度田圃に着陸出来たのですが、外側から取つて居れば、丁度海の上で落ちて居る事になるのです。まあ不幸中の幸ですな……。

### 邦人引揚と日佛交渉

大塚 では、引揚風景とでも言ひますか、引揚當時の様様をお話し願ひます。

編 八月三十一日、日佛交渉最後の通牒を發したのでありますが、その期限である九月二日の午後四時を七時半迄待つて呉れと言つて来たので、日本側もそれを承諾して、いよいよその期限である七時半に來た回答といふのが、不當な條件付の回答であつたので、いよいよ九月四日引揚げと決定し、三日に荷物を纏めてトラックで送り出した處、四日午前十時過ぎ引揚中止となるかも知れないから、そのまゝ待期せよといふ命令なので、待期してゐると、十一時頃、佛蘭西が我國の申入れを全面的に承認したので、命令は解除となり、私達一同はつとしたのでした。といふのは私達會社の者は皆單身で行つてゐるので引揚げ

といつても、別に簡單に行きませんが、彼方に三十年、四十年と住んでゐる人達は相當痛手を蒙るので、困つてゐた處を取戻して來たのです。處が七日になつて、事態は再び悪くなつて、國境附近では衝突さへ起つたといふので、何時でも引揚げる準備をして置けといふ命令なので、私達は再び引揚準備に取掛り、あり、ぞ、な、丸で引揚げる覚悟でゐたのです。

手に分れ、その中、體の丈夫な者とか、語學の達者な者は通譯、案内係となり一部残るといふ事になつたのです。十九日、いよいよ明日乗船せよといふ命令を受け、北部は海防、南部は西貢と決定し、私達は二十日七時フラツトフォームに乗り、「君が代」を賣唱し、「天皇陛下萬歳」を唱へ特別列車で河内の地を後にしたのでした。海防で八海丸に乗り、同夜と二十一日は船中に滞在、二十一日の夜中、いよいよ日佛交渉の最後の期限が來たといふので、私達一行は軍艦に護送され、海防を出發したのでした。それから海口に寄り此處で二十五日迄待期してゐたのですが、二十四日西貢を出發したあり、ぞ、な、丸が到着し、此處で佐藤大佐の慰

問を受け、いよいよ戦争が始つたな、と思つたのでした。やがて海口を出發あり、ぞ、な、丸は基隆に、私達は長崎に入港したのでした。長崎に上陸後初めて、その後佛印側が折れて、交渉が成立した事を聞き、漸くほつとすると同時に、此後私達はどくなるのかとすつかり進退に迷つてしまひましたが、一應、臺灣に引揚げて參りました。丁度、船中に十日居たのですが、その間引揚邦人一同、實に静謐であつた事は感心しました。中に二世の人が居まして、佛蘭西の學校を出て勿論日本語も分らないのですが、國籍さへ不明になつてゐるといふ者があつたが、日本人でありながらと氣遣に思ひました。

遺囑 財産をすつかり置いて来 大塚 ては最後には貴方達が見た  
た氣毒な人も居りましたわ。 日佛關係の此後の見通しほど  
此後の佛印と日本人 堤 私は歐米人は黄色人種に  
うてせう。

### 「三B政策」に就いて

バルカン地方に於ける獨逸の勢力が日増しに旺となり、「三B政策」が再び世界中の話題に上つてきました。「三B」とは、ベルリン、ベルグラー、バクダッドの三都市の頭文字です。これ等の三つの都市を連ねて、「獨逸の迴廊」を建設しようとするのがいはゆる「三B政策」なのです。  
獨逸がこれを計畫したのは、第一次大戦以前のことですが、當時仲の悪かつたロシアや英國がいつも邪魔をしてゐたし、その上大戦となつてしまつたので實現に至りませんでした。  
今のヒトラー總統は果してこの「三B政策」を實行する決意があるか否かは分りませんが、若しバルカンの如く、トルコにまで獨逸の勢力が伸びるとすれば、印度はうしろの方から衝かれる恰好となるわけです。英國に取つては、最も恐るべき脅威と云はねばなりません。

對して、常に一種の優越感を  
持つてゐる様に思はれます。  
また、われ／＼日本人には、  
何とか言つて居ても、それを  
認めてゐるのではないかと思  
ひます。所謂、歐米人崇拜で  
すな。そんなものが心の何處  
かに残つてゐるのではないか  
と思ひます。此際、そんな感  
情は徹底的に捨て去つてしま  
なければいけないのではない  
かと思ひます。私はむしろ、  
此際、佛蘭西を××××××  
しまつた方が良くと思ひま  
す。此度の日佛交渉に就て、  
佛印側が交渉をはかどらせな  
かつた理由として、私は  
統治上安南人に對する佛人の  
體面上の問題。  
内心日本を侮れて居乍らも、  
歐洲人特有の優越觀念を持ち  
つけて居たこと。

支那重要政府の手が相當入つ  
てゐるのではないか。  
日本は支那を擧げて、到底佛印  
迄手を伸べないといふ願望。  
歐米に對する日本の羨望ね。  
米國からの援助。  
また、獨逸休戰協定により獨  
逸の援助。  
といふ様な事が、此度の交渉  
を承びかせた原因ではないか  
と思ひます。  
だが、何れにせよ、日佛交渉  
も成立したのだし、私達もま  
た近く歸つて行く事になると  
思ひますが、日本の爲めにも  
大いに新開拓地を拓いて行  
き度いと思ひます。  
大塚 どうも永い間、いろ／＼  
貴重なお話を有難うござい  
ました。皆様の前途を祝福し、  
併せて御活躍を期待してゐま  
す。(情報部主催)

### 底徹の減節費消

## 奢侈贅澤を一掃せよ

警務局警務課

東亞の盟主である日本は  
東亞共榮圈の確立といふ聖  
業完遂の爲に今や國力を擧  
げて外には新しき世界平和  
の建設を担ひ自由主義的擧  
取國家群の覺醒を促し、内  
にはこの聖業完遂を阻害す  
る舊體制を革新し眞に我が  
國體に基く天業實の新體  
制を樹立しつゝある。  
然し乍ら東亞共榮圈の確

立は國運を賭しての大事業  
であり國家總力の發揮を以  
て完遂せらるゝ大業であ  
る。固より外敵に對しては  
精銳無比なる我が皇軍の威  
存あり些の不安も存在せな  
いが、要は統後國民が戰場  
統後共に戦線たるべき現代  
戰の特殊性に鑑み國家中心  
の觀念の下に生産の擴充  
物資の節約を計り以て軍用  
資源を確保し、國民皆兵の  
眞髓發揮に依り武力戰經濟  
戰共に強剛無敵の高度國防

體制の整備を期せなければ  
ならぬ。茲に於て眞摯強靱  
なる戦時下國民生活の確立  
が急務である。  
聖戰已に四年我が皇軍は  
生命奉還の大義の下に異域  
の陸に海に奮戦しつゝある  
この戦時下、この非常時局  
下國民の生活は言はずもが  
な遊蕩墮眠を食るものであ  
つてはならぬ。

遂の線に副つて營まれなけ  
ればならぬことは勿論であ  
り一人と雖も戦時を意識せ  
ない者の生活があつてはな  
らない。戦線に於ける皇軍  
勇士の勞苦を思ひ護國の華  
と散つた英靈を偲ぶとき吾  
人の生活は國を愛ひ國に報  
ずる生活でなければなら  
ぬ。今や軍用資源及生活必  
要物資の確保は戦争遂行の  
第一條件である。この秋國  
民は各自の生活環境から奢  
侈贅澤といふものを一掃し  
て消費節減の徹底を計らな  
ければならぬ。即ち職域を  
通じて御奉公せなければな  
らぬとき遊興三昧に目を送  
るとか、酒に陶酔するとか、  
健康性を失つた輕佻浮薄な  
容姿服装に浮身をやつすと

戦時下國民生活は聖戰完

かは國民生活から斷然排除した生活をして戰時體制に移行させなければならぬ。茲に於て戰時生活の樹立、奢侈的生活排除が國民精神總動員運動として展開し一般の人々と業者たるを問はず國民總ての自肅が要望せられつゝあるのであるが國民の奢侈的生活抑制につき特別に考慮を拂はなければならぬことは奢侈生活に最も深い關係を持ち、而もともすれば遊蕩墮落の風を扇動し戰時下國民士氣の作興上支障を招く傾の多い料理屋、カフェー、貸座敷、飲食店、遊技場、舞踏場等の風俗關係諸營業及び映画演劇興行等の自肅である。之等の營業も國民生活

への潤い、飲食の供給、國民保健の維持、社會文化の向上等の社會的要求に基き構成せられた社會制度であるが一面又業態上遊興娛樂を目的とし國民の奢侈享樂的生活を誘發助長する機能を有してゐる關係上之を放任すれば勢ひ風俗を紊し、國民保健を障害し延ては遊蕩墮落の弊風を醸成することとなる。之が自肅に付ても單なる自律的自肅のみでは其の目的を達することは至難のことと考へられる。之等の業者をして消極的に奢侈的生活抑制の線に副はしむるのみならず積極的に營業を通じて闊達なる國民氣宇の養成、健全なる娛樂の普及、社會文化の向上等

に貢獻せしむるには強力なる指導と各種の制限が必要とせらるゝにつき之が制限及指導取締に付ては警察に於て實施することとなつたのである。然し乍ら之等の營業は從來國民生活に密接な關係を有し、之が營業の制限は國民生活の態様に變更を加へると共に、營業者に與ふる影響も亦尠くなく、且又全島的にも一定の標準の下に行ふ必要があつたので、總督府に於ても特に深重なる態度を以て臨み、總督府の取締方針を決定し、九月二十一日地方廳に通達直に實施したのである。總督府の方針として決定した風俗關係諸營業及興行の取締要綱

は次の通である。

風俗關係諸營業及興行取締要綱

- 一、料理屋、カフェー、飲食店、喫茶店、バー
  - (一) 營業時間八午後十一時迄トスルコト
  - (二) 但シ露店ニ限リ午後十二時迄トスルコト
  - (三) 歌舞音曲ハ午後十時迄トスルコト
  - (四) 新築、増築、改築、模様替ハ認メザルコト
  - (五) 但シ地方ノ特殊事情ニ依リ必要アルトキハ知事廳長ノ承認ヲ經テ模様替ヲ認ムルコト
- 二、新築、増築、改築、模様替
  - (一) 營業ノ許可ハ相續ニ依ル營業ノ場合ノ外原則トシテ認メザルコト
  - (二) 但シ特別ノ必要ニ依リ許可スル場合ハ知事廳長ノ承認ヲ經ルコト
  - (三) 其ノ他
    - (イ) 勘定書ハ明細ニ記載セシムルコト
    - (ロ) カフェーノ勘定ハ出口勘定トスルコト
- 三、新築、増築、改築、模様替
  - (一) 新築、増築、改築、模様替ハ認メザルコト
  - (二) 但シ特別ノ場合外取扱ヲ必要トスルトキハ郡守、警察署長又ハ支廳長營業者ニ承認ヲ與フルコト
  - (三) 酒類ノ販賣ハ客一人ニ付酒ハ二合以内、麥酒ハ二本以内トシ、酒、麥酒併用ノ場合ハ酒一合、麥酒一本以内トスルコト(從前通)
- 四、遊技場
  - (一) 營業時間八正午ヨリ午後十一時迄トスルコト
  - (二) 未成年者ノ晝間ノ入場ヲ禁止スルコト
  - (三) 女給其ノ他
    - (イ) 女給
    - (ロ) チツプハ一席二圓以内トシ名指、當番ノ外ハ受領セシメザルコト
    - (ハ) 客一人ニ付女給一人ヲ超ユルヲ得ザルコト
    - (ニ) 服装ハ簡素ナルモノヲシムルコト
    - (三) 女給ノ飲酒ハ可成避ケシムルコト
  - (四) 仲居ノチツプハ一席二圓以内ニスルコト
  - (五) 藝妓ノチツプハ一席一圓以内ニスルコト

- (ハ) カフェー、飲食店、喫茶店、バー等ニ在リテハ飲食食品ノ定價表ヲ客ノ購易キ所ニ揭示セシムルコト
- 二、貸座敷(貸席ヲ含ム)
  - (一) 閉店時刻ハ午後十二時トスルコト
  - (二) 歌舞音曲ハ午後十時迄トスルコト
  - (三) 營業用建物
    - (イ) 新築、増築、改築、模様替ハ認メザルコト
    - (ロ) 新築、増築ノ許可
    - (ハ) 相續ニ依ル營業繼承ノ場合ノ外營業ノ許可ハ認メザルコト
- 三、舞踏場
  - (一) 開設者ニ豫言閉鎖セシムルコト
- 四、料理代
  - (一) 料理屋、カフェー、飲食店貸座敷等ニ於テ一定ノ順序ニ依リ配膳サル、ガ如キ所請定食式ノ料理、宴會式料理、座敷料理其ノ他ノ料理ニシテ一席一人ノ料理代
    - (イ) 日本料理及西洋料理
    - (ロ) 全島各地ノ實情ヲ斟酌シテ甲、乙、丙ノ地域ニ區別シ甲地ハ五圓以内、乙地ハ四圓以内、丙地ハ三圓以内ニ於テ夫々地方ノ實情ニ應ジ

- 制限スルコト
  - (一) 臺灣料理
    - (イ) 全島各地ノ實情ヲ斟酌シテ甲、乙ノ地域ニ區別シ甲地ハ四圓以内、乙地ハ三圓以内ニ於テ夫々地方ノ實情ニ應ジ制限スルコト
    - (ロ) 但シ一卓ノ場合ニ於テハ甲地ハ三圓以内、乙地ハ二圓以内ニ制限スルコト
  - (二) 宴會
    - (イ) 料理屋カフェー貸座敷等ニ於テ二人以上會食シ藝妓、女給、酌婦、娼妓、遊藝人其ノ他ノ之ニ類スル者ヲ有價ニテ招キ飲食、遊興ヲ爲ス場合ニ於ケル一人一席ノ消費額
    - (ロ) 普通料理屋、貸座敷等ニ於ケル宴會費
      - (イ) 酒類代、料理代、花代、税金其ノ他宴會ニ要スル一切ノ費用
      - (ロ) 全島各地ノ實情ヲ斟酌シテ甲、乙ノ地域ニ區別シ甲地ハ七圓以内、乙地ハ五圓以内ニ於テ夫々地方ノ實情ニ應ジ制限スルコト

- (二) カフェーニ於ケル宴會費
  - (イ) 女給ノチツプヲ除ク外酒類代、料理代、税金其ノ他宴會ニ要スル一切ノ費用
  - (ロ) 全島各地ノ實情ヲ斟酌シテ甲、乙ノ地域ニ區別シ甲地ハ八圓以内、乙地ハ六圓以内ニ於テ夫々地方ノ實情ニ應ジ制限スルコト
  - (ハ) 前記(1)ノ場合ニ於ケル料理代ハ甲地ハ五圓以内、乙地四圓以内ニ制限スルコト
  - (ニ) 臺灣料理
    - (イ) 酒類代、料理代、花代、税金其ノ他宴會ニ要スル一切ノ費用
    - (ロ) 全島各地ノ實情ヲ斟酌シテ甲、乙ノ地域ニ區別シ甲地ハ七圓以内、乙地ハ五圓以内ニ於テ夫々地方ノ實情ニ應ジ制限スルコト
  - (三) 前記(1)ノ場合ニ於ケル一卓ノ料理代ハ甲地ハ三圓以内、乙地ハ二圓以内ニ制限スルコト
  - (四) 酒類(麥酒ヲ含ム)ノ販賣
    - (イ) 料理屋、カフェー、飲食店、バー、貸座敷等ニ於ケル酒類

- 販賣ハ左ノ制限ニ依ルコト
  - (一) 酒類ノ販賣ハ午後五時以後トスルコト
  - (二) 但シ特別ノ場合外取扱ヲ必要トスルトキハ郡守、警察署長又ハ支廳長營業者ニ承認ヲ與フルコト
  - (三) 酒類ノ販賣ハ客一人ニ付酒ハ二合以内、麥酒ハ二本以内トシ、酒、麥酒併用ノ場合ハ酒一合、麥酒一本以内トスルコト(從前通)
- 遊技場
  - (一) 營業時間八正午ヨリ午後十一時迄トスルコト
  - (二) 未成年者ノ晝間ノ入場ヲ禁止スルコト
  - (三) 女給其ノ他
    - (イ) 女給
    - (ロ) チツプハ一席二圓以内トシ名指、當番ノ外ハ受領セシメザルコト
    - (ハ) 客一人ニ付女給一人ヲ超ユルヲ得ザルコト
    - (ニ) 服装ハ簡素ナルモノヲシムルコト
    - (三) 女給ノ飲酒ハ可成避ケシムルコト
  - (四) 仲居ノチツプハ一席二圓以内ニスルコト
  - (五) 藝妓ノチツプハ一席一圓以内ニスルコト



(四) 本島人藝妓ノ花代ハ一席  
 四圍以内ニスルコト  
 九、學生、生徒  
 學生、生徒ノ料理屋、カフェ  
 ー、バー、貸座敷、遊技場等  
 遊興ノ目的トスル店舗ノ出入  
 制限ハ學校其ノ他文教關係當  
 局等ニ於テ爲シ警察ニ於テハ  
 之ガ指導取締ニ付之等教育機  
 關ト協力シ警察者ニ對シテハ  
 要スレバ右制限ノ標示ヲ爲サ  
 シムル等指導スルコト

- 十、興行  
 (一) 興行時間  
 各種興行ヲ通ジ正午ヨリ午  
 後十一時迄トスルコト  
 但シ相撲等特殊ノモノニ付  
 テハ例外ヲ認ムルコト  
 (二) 入場料  
 高價料金興行ハ全面的  
 (イ) 抑制スルコト  
 (ロ) 演劇ハ五圓以内トスル  
 (ハ) 活動寫眞ハ地方ノ實情  
 ニ即シ現在ヨリ適當ニ引  
 下グルコト  
 (ニ) 演劇、活動寫眞以外ノ  
 興行ハ許可ノ際入場料ノ  
 抑制ヲ適當ニ考慮スルコ  
 ト  
 (三) 看板、廣告

(1) 看板ノ大キサヲ適當ニ  
 制限スルコト  
 (ロ) 必要程度ヲ超ユル廣告  
 ヲ制限スルコト共ニ廣告ニ  
 ハ各等入場料ヲ明示セシ  
 ムルコト  
 (四) 學生、生徒ノ入場  
 學生、生徒ニ對スル制限ハ  
 學校其ノ他文教關係當局等  
 ニ於テ行ヒ警察ニ於テハ之  
 ガ指導取締ニ付之等教育機  
 關ニ協力スルコト  
 右要綱に基キ州廳に於て  
 は料理代、宴會費其ノ他に  
 つき地方ノ實情に則し更に  
 具體的に決定し第一線ノ郡  
 署に於て指導取締を行ふこ  
 ととなつたのである。之等  
 の制限は時局下最下限度の  
 制限であり、本制限の範圍  
 内が必ずしも満足すべきも  
 のではなく、自肅の必要度  
 が重加すれば更に各種制限  
 の高度化も考慮されること  
 とならう。

警察に於ては業者の指導  
 に格別の考慮を拂ひ業者の  
 自肅を促進するが又一面右  
 要綱に基キ警察下命の制限  
 を遵守せず時局を辨へざる  
 惡質業者に對しては苛酷す  
 る所なく營業禁止等の嚴  
 重なる處分を以て臨む方針  
 である。  
 各營業者も從來の自己利  
 益の追求に急にして公益的  
 考慮を拂はなかつた營業方  
 針の如きは率先之を改め、  
 警察下命事項を遵守するの  
 みならず積極的に營業をし  
 て時局に即應する如く改善  
 し戦時下營業の新體制を確  
 立すべきである。  
 以上述べた所は勿論營業

者に對する指導取締である  
 が單に營業者の一方的自肅  
 のみによつて奢侈生活の抑  
 制が期し得らるゝものでは  
 ない。要は國民各自の自肅  
 自戒に俟つべき所が大であ  
 る。  
 時局を認識せざる者の強  
 要又は愚慮が遂に業者をし  
 て制限違反の不徳行爲を敢  
 行するの舉に出でしむる事  
 例も亦尠くない。  
 業者と言はず客と言はず  
 島民全體が一體となり自肅  
 自戒興亞の大業を完遂する  
 健實強靱なる戦時下國民生  
 活の確立を要望して已まな  
 い次第である。

# 蘭印問題

## 東亞經濟圈の確立 (上)

鹽谷 嚴 三

去る昭和八年一日現内閣  
 は基本國策の一として東亞  
 經濟圈の確立と云ふ新しい  
 使命を強調したが、然らば  
 東亞經濟圈に入れなければ  
 ならぬ地方は何處々々であ  
 らうか。  
 元來斯る所謂廣域經濟圈  
 に含まれる範圍は地理的  
 に、經濟的に、又文化的に  
 見て相互に協力すべき自然  
 的條件を有する近隣諸國を  
 包含すべきものであり、其  
 の本質上、自然的生産力、即  
 ち地下資源並に農業、工業  
 の現實的及潜在的生産力を  
 有する一定の廣大な經濟地  
 域を基礎として成立發展し  
 得る性質のものであるが、

東亞經濟圈が日本を盟主  
 とし、日本を指導者とする  
 以上、日本の指導原理によ  
 り、又日本の具體的な建設  
 目標に従つて其の包括する  
 地域が定めらるべきであ  
 り、又日本が指導者である  
 以上は日本の對外經濟發展  
 を基本原理とすべきであ  
 る。斯る理由よりして東亞  
 經濟圈に入るべき地域は、  
 我日本を核心とする日滿支  
 を其の一環とし、廣く南方  
 一帯の地域、即ち蘭印、佛  
 印、泰國は勿論、比律賓、  
 英領馬來も之に包含するべ  
 きであり、更に緬甸にまで  
 及ぶべきであると思ふ。  
 これら諸地方の内、私が  
 特に蘭印のみを取上げた理  
 由は、東亞經濟圈建設の方



(ボルネオ、パルクバパン製油所)

向に必然的な基礎を與へる資源が、蘭印に於て特に豊富である事と、日米經濟關係悪化の結果支那事變處理に缺くべからざる物資、特に石油の米國依存に不自由を來すならば、其の好むと好まざるとを問はず之を蘭印に求めねばならぬ問題に直面してゐると思ふからであり、更に小林特派使節によつて行はれる今次日蘭會商が、如何なる方向に進展するか豫測の限りではないが、此際年來の懸案たる蘭印の日本に對する入國の制限、企業參加への障礙、通商上の障壁の打開が行はなければ、東亞經濟圏の一翼としての蘭印の役割を充分に活用せしめる事が困難である。と考へるからである。本國を失つて蘭印が將來果して何れに歸屬する事になるか。

既に和蘭本國に權利を確保した獨逸、又諸外國中蘭印に最も多くの經濟的權益を持つ英國、又ゴム、錫等の軍需資源を蘭印に仰ぐ事大なる米國、更に英米の合體的勢力等、蘭印を廻る國際爭鬪が益々濃厚となりつゝある今日、蘭印の現狀維持聲明の如き一顧の價値も認められぬ。此際獨り蘭印のみならず、南洋の植民地歸屬を廻つて我日本が絶體的有利な地歩を手取り早く確保して置く事が必要であり、其の爲には先づ蘭印の

現狀を發展的破壊に導かねばならぬと思ふのである。

二

扱て先づ蘭印資源確保の問題であるが、云ふ迄もなく蘭印の主要なる資源は農産資源と礦産資源とである。之等資源が東亞經濟圏に於て缺くべからざる役割を演ずる事は論を俟たぬが、特に現在に於て年産三十萬噸世界の約四割を占める錫、年産八百萬噸を記録する石油、及年三萬噸世界の二割を供給する錫と、主要なる二、三の資源に就て見ても其の重要さを裏書するものである。之等重要資源を中心とする其他大小無數の資源が、日本と滿支

のものに和合一體化せざる限り東亞經濟圏に於ける自立經濟は困難である。然しながら、勿論蘭印はもとより其の他南方諸地方の現在の生産狀態を以て満足すべきではなく未開發重要資源の開發に俟つものは少くない。然らば蘭印の未開發資源の開發に當り我日本の資本及技術が自由に之に参加し得るかどうかが問題となる。

一九二九年に端を發せる世界經濟恐慌の嵐に蘭印が捲込まれて以來、蘭印は從來の門戸開放主義を捨て國家主義の甲羅に立籠り、特に日本の商品及資本の進出を抑止する措置に出てはるが、農業資源の開發に關

する限りに於ては我日本も從來より之に参加して居り、産業回復の爲政府の生産統制下にあるものゝ外は其の參加の資格乃至條件は、窮屈に取扱はれてはゐるが、一先づ我慢の出来る程度であり、特に蘭印政府が世界經濟恐慌以來執つて來た新經濟産業政策に即應すべき新規作物に方向を向けるならば決して困難な問題ではない。

地下資源に關しても礦業權取得の資格乃至條件に就ては、我々日本人も一應は之に参加し得る機會が與へられて居る事は事實であり、我日本として最も企業參加を望む石油資源の開發に關しても、最近の蘭印側

新聞論調は之を決して日本に對して封鎖してゐるものではなく蘭印大衆の經濟的福祉に貢獻するならば、其の開發の資本が日本なると英米たるを論じないと云つてゐる。然し蘭印石油界の現況、及び蘭印の石油政策を端的に表現してゐる礦業法の運用上より見れば、現狀の儘推移する限り今後それが如何に至難であるかが窺はれるのである。

石油資源は蘭印礦業法の所謂b種礦物に屬するものゝ一である。b種礦物とは石油、石炭、天然瓦斯等を主體とする燃料礦物の一群を指すものであるが、之等燃料礦物群に對しては蘭印は極端な閉鎖主義を執り、

之が開發を強力な國家統制下に置いてゐる事を知らねばならぬ。

現在蘭印の石油界は英蘭共同體たるユニオンクロク・シエル聯合即ち世上ロイヤルダツチ・シエル聯合と云はれる資本系統が其の七割三分、米國スタンダード系が二割七分を生産し、此の二大トラストの對立競争によつて現在の盛況に迄發達して來たものである。然るに新天地ニウーギネアの石油開發を廻つて此の二大トラストが完全に手を握り、今や蘭印の石油界は英・蘭・米の密接なる聯絡の下に完全に支配されてゐる状態である。

英蘭聯合體によつて設立されたバターフェ石油會社三億盾の資本中其の四割が英國資本であるが、英國の石油資本が蘭印石油界に根を下し、和蘭の石油資本と結びつき、此の聯合體を通じて蘭印政府の礦業法による公の保護の下に着々と其の産業帝國主義の手を延ばしつゝある事を思ひ、更に蘭印政府の一九一八年に於ける礦業法改正の意圖が、収益率の大なる石油を中心とする燃料礦物資源の開發を政府自らの手に保留し、民間側の參加は僅に政府の代理企業として礦業法第五a號に基く契約によつてのみ之を許すが、而も此の契約が一々オランダ本國議會の定むる法律を以て許可す

は極端な閉鎖主義を執り、

る事とし、此の民間側の代  
行の場合も第一に和蘭資  
本、次で和蘭と緊密なる關  
係にある國の資本を選ぶ方  
針である、事實に於て蘭印  
の石油政策は英國の石油政  
策の代行に過ぎぬ現状より  
見れば、我國に易々として  
油田を開放するが如き事態  
に到る事は夢想だに許され  
ぬ事である。

現在我日本の唯一の石油  
資本ボルネオ石油會社は礦  
業法改正前の既得コンセツ  
ションの買収によるもので  
あり現在の處其の成績に未  
だ見るべきものは無いが、  
兎に角其の存在は貴重なる  
權益であつて、其の成功を  
祈つて止まぬ。斯くの如く  
蘭印石油界に英國の重壓が

存在する限り新規の企業參  
加はもとより、既得コンセ  
ツションの買収も今後困難  
であり、此の蘭印石油政策  
の背後にある對日敵性國家  
の存在を排除せざる限り日  
本が蘭印石油企業に進出す  
る事は不可能に近いと思は  
れる。

此の解決は最も困難であ  
るが又最も重要な問題で  
あり、此の問題のみを取上  
げて見ても對英的更に對米  
的摩擦の排滅を第一とする  
ことが判ると思ふのであ  
る。

三

次に通商の問題である  
が、一體廣域經濟圏に於て  
は先づ第一に其の中心とな

るべき高度の産業發達國の  
必要とする原料が、完全な  
自給化とまで行かずとも可  
成り高度に自給され、他面  
其の必要とする商品市場が  
容易に獲得出来ねばなら  
ぬ。而して此の事が經濟圏  
を構成する地方の共榮共存  
の基礎の上に展開される事  
が望ましいことである。即  
ち斯る爲には日本は南洋の  
特産品を充分に吸収する一  
方其の必需品を充分に且つ  
廉價に與へる義務があり、  
斯る義務を負ふに足る程に  
日本の産業自體を發達させ  
る必要がある。

斯る點よりして先づ蘭印  
の産業發達の段階と貿易の  
特質を検討して見なければ  
ならぬ。

蘭印は特にジャバに於て  
は近代工業化運動の促進に  
よつて、漸次産業革命的傾  
向を見せてはゐるが、然し  
蘭印が現在の原始産業國の  
羈絆を脱し、高度の工業國  
となると云ふ事は一寸考へ  
られぬ處である。

蘭印の貿易は恒常的に  
多額の輸出超過を維持して  
ゐるが之は多種多様の原料  
品の輸出に基礎を置くもの  
であり、其の産業發達の段  
階よりして機械器具はもと  
より食糧品、生活必需品等  
の殆んど總てを海外に求  
め、更に國債及外國資本の  
利拂の爲に、輸出超過を必  
然的に維持しなければなら  
ぬことを認識し、更に此の  
蘭印の血液的要素たる輸出

超過が世界經濟恐慌以來著  
しく低減した原因の一が、  
爪哇糖の輸出困難にあつた  
事實、更に日本との貿易が  
日本よりの輸入超過に終つ  
てゐる事實を充分認識して  
今後の蘭印との通商整備に  
當らねばならぬ事を特に申  
上げた。

最近新聞紙の報ずる處に  
よれば、蘭印の通商局長フ  
アン・ホーホストラーテン  
氏は、日本に對する蘭印物  
資供給の保障に就ては日本  
の經濟的需要を充分満足せ  
しめ得る事を確信してゐる  
と述べたと稱し、小林特派  
使節との今次會商に於て蘭  
印當局が充分なる好意と期  
待を示すものとして、樂觀的  
觀測をなしてゐる様である

が、そう樂々と事が運ぶ様  
なれば誠に幸である。然し  
私は先づ石油の問題を取り

上げてみたい。  
—次號へ續く—

佛印の女性

今や世界の目は佛領印度支那に注がれてを  
ります。佛印と我が國は昔から特別の關係に  
ありますし、東亞共榮圏の一環として、この際  
佛印に關する私達の知識を調べてみませう。  
佛印の面積は日本内地よりも廣く約七十四  
萬平方キロあります。人口は二千三百萬で、  
その中の約七割餘は安南人で、そのほか、カ  
ンボヂヤ人が三〇〇萬、ラオス、タイ族、苗  
族、種々雑多であります。

こゝに生活してゐる支那人とその子孫は約  
四十萬人、日本人は僅に三百名に過ぎず支配  
國であるフランス人は約四萬です。  
こゝの女性の風俗習慣はそれ／＼民族によ  
つて違ひますが、主に安南人についてあげて  
みると、過去千年の間、支那の支配下にあ  
つただけ、顔かたちも、服装も、思想でも、非  
常に支那の女性に似て居ります。  
安南の女性達は、炎熱四十度の盛夏でも胸  
や足、肉體を出す服装を嫌ひ、必ず袖の長

い、ゆつたりとしたスカートの服装をしてを  
り、フランス人の女性の服装を決して真似す  
ることなく、肉體を出すのは野蠻で動物的だ  
といふ感念を持つて居ります。安南人の女性  
でフランス人の妻となつてゐるものは殆どな  
く、これも民族の相違といふ點以外、安南女  
性の志操のあらはれとも云ふべきでせう。  
亦家庭的な行事、女性道と云ふやうなもの  
も殆ど支那と同じで、従つて日本とも一脈通  
じるところがあります。例へてみますと、三  
月の節句、正月、名月の宴、七夕もあり、今  
でも盛んに行はれてゐる地方もあります。女  
性訓として日本の女子大學のやうに三從四德  
とも云ふべき延訓があり、幼時は親に従ひ、  
嫁しては夫に従ひ、老いては子に従ふ三從の  
徳と、一に勞働、二に禮儀、三に言語を慎み、  
四は品行を重する四德は、特にやかましく、  
これは勿論支那の思想から來たものです。  
佛印女性の忍従の精神は大したものので、こ  
の四德の一にあげられてある勞働の點ではむ  
しろ男子以上といつてよい程です。安南では  
男は遊んでゐて、女に喰はしてもらつてゐる  
といはれておりますが、強ち過言ではないと  
思はれます。  
(情報部)



# 木魚の中に入る人

西本願寺 輪番 八雲圓成

ある禪宗のお寺に、小僧として入寺した十歳の子供がありました。なんと偉い人になりたいと思つて修行をして居りました。ところが毎日、木魚をたいたり、鐘をついたり、掃除をしたり、一向氣の利いたことをしないで居たのでした。

「これでは偉い人になれない」と、子供心に考へて、遂に或る日のことお師匠のところへ行つて、

「どうしたら偉い人になれますか、偉い人になる方法を教へて下さい」と尋ねたのでした。すると、和尚さんは、

「お前も偉い人になりたいのか、偉い人になるには、お前の體を本堂の木魚の中に入れる工夫をしてみなさい。這入れたら偉い人になれるのだ。」

と教へられたので、毎日、種々に工夫してみますけれども、どうしても這入れません。二箇月あまりして和尚さんのところに行つて、

「いろ／＼工夫してみましたけれども這入れません。」

と申しましたら、師匠は、

「世の中の偉い人はみな這入つて居るのにお前だけが這入れないと云ふことは、それはまだ考へが足りないのだ、よく考へてみなさい。」

と申されるのでした。そこでまた種々工夫し考へましたのが二箇年、遂に這入ることが出来ました。

その小僧さんが後目になつて、二箇年半の間、種々と這入る工夫を致しましたが、最後に氣付きましたことは、この大きな體を木魚に入れようとしても、それはなかく這入りません。

木魚の中に這入れとは、この體を入れることではなくして、一と打ちの木魚にも真心こめて、全生命を打ち込んで、眞剣にたくことで、そこに身も心もすべてが一つになりきつて、木魚の中に這入つて居るのだと悟つた時に、大きな境地が開けて來ましたと申されたのでした。これは教へられるところの多い、味ひ深い語であります。人間は何事に依らず、各人／＼が與へられて居るところの地位にあつて、眞

劍に働きぬくところに尊さがあるのであります。

「眼が眉毛に對して不平を云つたと云ふことがあります。」

「眉毛、お前は、毛を少しばかり生やして居て、別に大した大切な仕事もしないで居て、體の最上位に居ると云ふことはけしからんとである。下に降りて來い。體の中で一番重要な仕事をして居るのは已れである。危険のところを除けて、安全地帯に運んで體一つを安全に保つて居るのはこの已れがよく働いてやるからである。だから已れが一番上に居なければならぬ。」

と云つたのでした。ところがこれを聞いて居りました鼻が、又自分の職務の尊さを述べて不平を云ひ出しました。此を聞いた口が又自分の立場を述



べて、上位に行かなければならないといひ出して四つものが夫れ／＼議論をやり出したと云ふのですが、面白い

話であります。めい／＼が上だ下だ、おれが偉い、おれが尊いと争つて居たのでは體一つの健康を保つことは出

來ないのであります。眼は眼、鼻は鼻、口は口、手は手、足は足、上だとか下だとか云ふことではなくして、自己がこの位置で、己に與へられた仕事をしつかり行ふことが、己に與へられた責務であります。

この仕事をしつかり行ふことが體一つを健全にする基なのである。との信念のもとに、上だとか下だとか、認められるとか認められないとか、褒められようが褒められないが、それ等を問題外として責務を遂行する所に人間の眞の尊さがあるのであります。人間の眞の尊さは、位が高いとか金があるとか、知識があるとかそんなことで定まるものではないのであつて、それらはほんの一部分の要素たるに過ぎないのであります。人間の眞の尊さは、外部につけられて居るすべて

の飾りを取り去つて、その人を眞裸にしてみても、しかも猶その人の中から流れ出る光があると云ふ。即ち信念の下に仕事をして居る人がほんとうに尊いのであります。

傳教大師の山家學士に、「國寶とは何ものぞ寶とは道心なり、道心ある人を國寶と云ふ。經寸十枚國寶に非ず、一遇を照すもの國寶なり。」とあります。

とありますが、この人を相手としてないで、神、佛、天を相手として生きる信念の上に立ちて生活する人が、眞に尊くそしてまた國寶なのであります。我れが、かりに雑巾がけ一つするにしても、この私のやつた雑巾がけが、他の誰れもが眞似の出来ないほどに、立派に雑巾がけをする所に、私の雑巾がけが眞似があるのであります。誰れが代理のものがして、出来る程度の仕事しかないやうな人間であ

るならば、この私の存在の意義もなくまた存在の價値がないのであります。我々人間として生存して居る以上、ベンの中にも、鋤の中にも、雑巾の中にも、ハンドルの中にも、針の中にも這

### 欄問實

(問) 青少年雇人制限令中總督府水産講習所卒業者は同令の適用を受けますか。(臺南州嶺島生)

(答) 同令の適用を受けざる學校として、同水産講習所も擧げられてありますから、適用は受けません。

(問) 私は個人經營で商業を営んでゐる者ですが、近頃色々と發布された法令の解釋に苦しみ、知らぬがまゝに、危ふく違反行爲さへ起さうとした事があります。何か私達でも了解出来る様な解説書でもありませんでせうか……。(一商店主)

(答) 貴方の心痛はよく分ります。その爲に臺灣總督府内臺灣時報發行所に於て、「臺灣經濟法令講座」といふ法令の解説書が出てゐます。

昭和十五年十一月一日印刷發行  
發行所 臺灣總督府情報部  
臺北市榮町二丁目十五番地  
印刷所 加藤 豐 吉  
臺北市京町二丁目四三番地  
小塚本店印刷工場  
本誌定價 一月五錢 一月十錢(發售)  
頒布 臺灣總督府内  
申込所 臺灣時報發行所  
電話 二〇七〇番

## 携必人濟經！書の望待

# 總動員 關係 臺灣經濟法令講座

事變發生以來總動員關係の諸法令が雨の様に發布される。經濟人は日常一々これを咀嚼し、その主旨を吟味し、理解してかゝらなければならぬ。それが爲め今度本所に於て、臺灣商工會議所と連絡して「臺灣經濟講座」(過般の臺灣商工會議所開催の講習録を補正したるもの)を出版して廣く島内の經濟人及び官公署職員の待望に應へることとなつた。

菊版一部三冊六〇〇頁 定價金參圓也(送料共)

第一輯	臺灣戰時商工行政機構	第三輯	物務動員計畫
臺灣戰時商工行政機構	物資配給統制並に配給機構	米穀配給統制	米穀配給統制
價格等統制令	價格等統制令	砂糖配給統制	砂糖配給統制
暴利行為等取締規則	暴利行為等取締規則	糖配給統制	糖配給統制
經濟警察並物資取締令	經濟警察並物資取締令	外國爲替管理令	外國爲替管理令
貿易統制法	貿易統制法	爲替管理令	爲替管理令
輸出統制法	輸出統制法	新稅令	新稅令
輸出入統制法	輸出入統制法	稅令	稅令

發行所 臺灣時報發行所 電話 二〇七〇番  
總發行所 臺灣時報發行所 電話 二〇七〇番  
內府警總通臺  
八九四 內機話電  
〇七〇 二通電接

營業要目

- 一、日本銀行引受國債賣捌取扱
- 二、公社債の引受募集並ニ賣買
- 三、株式の引受募集並ニ賣買
- 四、公社債元利金支拂株式配當金取扱代理事務
- 五、金融業務

本店 大阪市東區安土町二丁目

# 野村證券株式會社

臺北支店 臺北市表町二丁目

其他支店 東京・名古屋・京都・神戸・岡山・廣島・高松・門司・福岡・金澤・新潟・静岡・札幌・京城

滿洲野村證券株式會社

本店 奉天・支店 新京・大連

昭和十五年九月二十日第三種郵便物認可  
昭和十五年十一月一日發行  
毎月二回一日、十五日發行（第一〇九號）